

平成 30 年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福社会

認知症対応型通所介護

大津みやび野デイサービスセンター

平成 30 年度 事業計画

<p>目 標</p>	<p>下肢筋力が低下している利用者に対して、機能訓練体制の充実と内容を見直すことで下肢筋力の向上を図る。</p>
<p>理 由</p>	<p>加齢や認知症の進行により自宅での活動量が減っている利用者にとっては利用間隔が数日間空いた状況でも、下肢筋力が低下している方が多数おられる。利用者が今後も在宅での生活を支援していくためにも、現在の個別機能訓練プログラムを見直し、より充実したものとしていく必要があるため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1日の業務の流れを見直すことで職員の手厚い時間帯を作り、全職員が訓練に関わる時間を作る。 2. 機能訓練を全職員が実施できるようマニュアル作成を行う。 3. プログラム内容の見直しのため、外部研修への参加や定期的実施している法人内の通所介護における生活相談員会議の場において情報の収集や交換を実施する。 4. 得た知識や情報は全職員に閲覧・把握できるように復命書や職員会議の場で報告し、統一した機能訓練を提供する。

平成30年度 事業報告

<p>事業報告</p>	<p>1日の業務の流れを見直したことで多くの職員が機能訓練に関わる時間を作ることができた。そのことによって職員同士の共通理解や情報交換がスムーズに行えるようになり、1人1人の意識が高まった。その結果、身体を動かす機会が減っていた利用者においても歩行状態の安定や、意欲的な動作が見られるようになったとご家族より報告を受けることもあった。</p> <p>また、法人内の相談員会議の場でお互いに情報交換を行うとともに、実施している訓練の見学も行い情報収集に努め、その情報を職員会議の場で伝達することで職員の統一を図ることができた。</p>
<p>事業運営総括</p>	<p>平成30年度の利用稼働率は74.3%で平成29年度と比較して4.2%下がった。4月から7月までは82%以上を維持できていたが、8月より暑さにより体調を崩されて入院される方や酷暑の中一人暮らしが困難になり、ショートステイの利用日数が増えた方がおられたことが要因であると思われる。</p> <p>事業所の強みである人員配置の厚さや少人数で認知症の方々も穏やかに過ごすことができる事なども含めて日々の活動内容をブログや広報誌等で積極的に発信し、認知度を深めていくことで新たな利用者の獲得につなげていく。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 2.08》

平成31年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	1	4%
要支援2	0	0%
要介護1	6	25%
要介護2	8	33%
要介護3	2	8%
要介護4	5	22%
要介護5	2	8%
合計	24	100%

月間利用実績（人数）

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要介護1	9	8	7	9	8	8	7	7	6	6	6	6	87
要介護2	5	5	5	5	6	6	5	4	4	5	8	8	66
要介護3	5	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	30
要介護4	5	5	6	7	6	5	5	6	5	5	5	5	65
要介護5	4	4	4	4	4	3	4	4	4	2	2	2	41
合計	30	27	26	28	27	25	24	24	22	21	24	24	302

月間利用実績（延べ人数）

《稼働率 78.5%》

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	51
要支援2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
要介護1	62	59	63	68	73	56	53	52	46	43	52	62	689
要介護2	51	56	54	48	59	54	48	39	32	45	66	69	621
要介護3	50	46	47	30	16	24	31	29	31	23	16	31	374
要介護4	46	54	74	80	70	71	64	60	54	47	53	58	731
要介護5	30	26	22	27	15	11	23	14	26	15	16	18	243
合計	253	245	264	258	237	220	224	198	193	177	207	242	2,718

開所日数

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	25	27	26	25	27	24	27	26	24	24	24	26	305

曜日別延べ利用実績

平成30年度

	月	火	水	木	金	土	合計
人数	507	476	362	409	496	468	2,718
割合	20%	17%	13%	15%	18%	17%	100%

1週当り平均利用人員

平成30年度

	月	火	水	木	金	土	合計	1日平均
人数	10.5	9.8	7.8	9.9	11	9.8	58.8	9.80
割合	18%	17%	12%	17%	19%	17%	100%	—

回数別利用人員

平成31年3月31日現在

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
人数	7	5	8	3	1	0	24
割合	29%	29%	26%	13%	3%	0%	100%

保険者の状況

平成31年3月31日現在

保険者	人数
姫路市	24
合計	24

年齢別構成状況

平成31年3月31日現在

	65歳以下	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上	合計
男	0	0	0	2	4	4	0	10
女	0	1	1	1	6	5	0	14
全体	0	1	1	3	10	9	0	24

日常生活状況

区 分		実数	割合
歩 行	自 立 歩 行	18	75.0%
	杖等の歩行補助器使用	2	8.3%
	車 椅 子 使 用	4	16.7%
食 事	自 分 で 可 能	18	75.0%
	一 部 介 助	3	12.5%
	全 部 介 助	3	12.5%
入 浴	自 分 で 可 能	13	54.2%
	一 部 介 助	5	20.8%
	全 部 介 助	6	25.0%
着 替	自 分 で 可 能	13	54.2%
	一 部 介 助	5	20.8%
	全 部 介 助	6	25.0%

平成31年3月31日 現在

区 分			実数	割合
排 泄	トイ レ	自分で可能	11	45.8%
		介 助	13	54.2%
	内おむつ使用		0	0.0%
認 知 症 老 人			24	100.0%

対 象 人 数	24
---------	----

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月	ドライブ：桜・芝桜鑑賞 お菓子作り	計算ドリル 漢字トレーニング 塗り絵	ボーリングゲーム 回想カルタ
5月	園芸・喫茶外出	計算ドリル・塗り絵 書道（ペン）習字	風船バレーボール 音楽療法 百人一首
6月	ドライブ：紫陽花鑑賞	計算ドリル 漢字トレーニング 塗り絵	輪投げゲーム 風船バレーボール もぐらたたきゲーム
7月	お菓子作り	書道（ペン）習字 塗り絵・計算ドリル	ブロック積み 回想カルタ ボーリングゲーム
8月	夏祭り	カラオケ・塗り絵 計算ドリル 書道（ペン）習字	音楽療法 風船バレーボール 百人一首
9月	喫茶外出	書道（ペン）習字 カラオケ・塗り絵 計算ドリル	おじゃみ投げ ブロック積み ボーリングゲーム
10月	祭り見学 お菓子作り ドライブ：コスモス鑑賞	漢字トレーニング 計算ドリル・塗り絵	絵合わせゲーム 輪投げ 風船バレーボール
11月	ドライブ：紅葉観賞 お菓子作り 交流会	計算ドリル 漢字トレーニング 書道（ペン）習字 カラオケ・塗り絵	旗揚げゲーム ボール体操 棒体操
12月	クリスマス会	計算ドリル 漢字トレーニング 塗り絵	ボーリングゲーム おじゃみ投げ ブロック積み
1月	初詣	計算ドリル 漢字トレーニング 書道・塗り絵	風船バレーボール 回想カルタ バターゴルフゲーム
2月	節分豆まき お菓子作り	計算ドリル 漢字トレーニング ペン習字・塗り絵	風船バレー 輪投げ ボール投げゲーム
3月	ドライブ：梅見観賞	計算ドリル 漢字トレーニング ペン習字・塗り絵	手指体操 ボール体操 ストラックアウトゲーム

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	ドライブ外出 お誕生日会 世代間交流	書道・ちぎり絵	ビデオ体操・散歩・口腔体操 メドマー、マイクロサーミー ラジオ体操

職員の法人内部研修の実施状況（平成30年度）

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 数	期 間	講 師（職・氏名）
介護技術研修	楽ワザセミナー：介護の基本、覆返り、起き上がり、移乗介助技術について（講習及び実技）	介護職員	37名	6月2、27、30日	ケアプロデュースRX組 代表 青山幸広氏
産業医研修	健康診断結果の総評、生活習慣病について	全職種	13名	7月26日	産業医 久保精一郎氏
接遇研修	介護職員のビジネスマナー、介護職員のマナーについて	全職種	101名	7月10、11日 8月7日	株式会社ニッソーネット 教務主任 青野桂子氏
安全運転研修	福祉車両、安全運転自己診断、事故を起こさないための心得、ビデオ診断講評、自損事故の現状、実車による死角体感について	公用車を運転する職種	43名	8月20、21日 9月5、20日	大阪ガスオートサービス 安心運転 コンサルタント 吉田正信氏他
看取りケア強化研修	看取りケアの実際、死の受容プロセス、家族の気持ちと必要な対応、チームケア、介護者のあり方について	看護職員 介護職員	37名	9月10、12、14日	株式会社ニッソーネット 舟木つるえ氏
衛生管理研修	細菌性食中毒の特徴と予防について	管理栄養士 調理員	10名	10月22、29日	衛生管理株式会社 微生物検査室 森田氏
介護技術（ロボット）研修	ノーリフティングケア、日本の介護環境の現状、福祉機器の利活用、役割と心構え、実践について	管理栄養士、調理員以外の職種	55名	11月7、16、19日	特別養護老人ホーム 施設長 田上優佳氏
職員倫理研修	身体拘束、拘束が及ぼす弊害と悪循環、身体拘束禁止11項目、緊急やむを得ない場合の対応、介護の質、人権擁護と倫理について	全職種	81名	11月7、16、19日	特別養護老人ホーム 施設長 小権尾竹信氏
音楽療法研修	カラオケ機器のコンテンツ、プログラム、男性の参加率の向上方法について（講習及び実技）	機能訓練指導員 生活相談員 介護職員	19名	11月29日 12月5日 1月9日	株式会社兵庫第一興商 音楽健康指導士 村上真奈氏

参加人数は併設事業所も含む

職員間の内部研修の実施状況

研修名	研修内容	研修内容	参加職種	参加人数	期 間	講師(職・氏名)
接遇研修	介護職員の言葉使いについて		デイ職員	15名	4月21日	生活相談員
リスク管理	事故報告件数・対策の視点について		デイ職員	13名	6月23日	生活相談員
交通ルールについて	道路表記、交通ルールについて		デイ職員	16名	8月25日	生活相談員
リスク管理	事故報告件数・対策の視点について		デイ職員	13名	9月22日	生活相談員
身体拘束について	身体拘束とは(スピーチロック、ドラッグロック、フィジカルロック)		デイ職員	14名	11月24日	生活相談員
感染症について	インフルエンザについてと対策		デイ職員	14名	12月22日	生活相談員
リスク管理	事故報告件数・対策の視点について		デイ職員	13名	3月16日	生活相談員

認知症対応型通所介護の人数も含む

職員の外務研修の受講状況

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
兵庫県老人福祉事業協会 子会職員研修会	講演「Barthe Index」について	生活相談員	1名	8月17日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命
平成30年度姫路市老人福祉施設 連盟施設長研修会	地域サポート施設の知事認定制度について	管理者	1名	8月20日	1日間	ホテル日航姫路	口頭・復命
施設長・職員研修会の研修	介護ロボットの現状について	管理者	1名	11月26日	1日間	ホテルモントレ姫路	口頭・復命
平成30年度姫路市老人福祉施設 連盟職員研修会	ノーリフティングケアについて	介護職員	2名	2月20日	1日間	日本栄養専門学校1号館	口頭・復命
平成30年度姫路市老人福祉施設 連盟職員研修会	ノーリフティングケアについて	介護職員	2名	3月20日	1日間	日本栄養専門学校2号館	口頭・復命

避難訓練の実施状況

実施日	訓練種目	訓練内容
5月28日	日中体制訓練	日中体制による避難訓練、放送、通報機器の使用確認。各部署との連携確認。
6月28日	地震発生時訓練	日中体制による地震発生時における避難経路、避難誘導の流れの確認。各部署との連携確認。
10月31日	合同訓練	みやび野エリアにおける日中体制による漏電火災を想定し、避難誘導と避難経路の確認。各部署との連携確認。

苦情対応

平成 30 年度は苦情なし

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
平成 30 年 7 月 4 日	「送迎車破損について」 送迎時に狭路で対向車とすれ違う際に、送迎車の左側面を壁に接触させてしまう。	①出来るだけ狭路を避け、広い道を走行するように送迎経路を見直す。 ②狭路を走行する場合には、対向車や障害物に細心の注意を払いながら最徐行で通過する。
平成 30 年 7 月 4 日	「義歯の紛失について」 利用中に何度も義歯が外れる様子を確認しており、帰宅送迎時にも同じ様子が見られていた。ご家族に利用中の様子について報告を行うが後日、義歯が入っていないとご家族より連絡あり。職員が送迎に使用した車や事業所内を確認するも発見できず。その後、ご家族も来られて一緒に事業所内を確認するも発見できず。	①上着、荷物等の持参物を確認するチェックリストを作成し、活用する。
平成 30 年 7 月 19 日	「玄関の破損について」 ご家族より送迎における室内介助を職員が行った際に、車椅子が接触し、玄関フローリングに傷がついたとの申出を受ける。	①送迎時、車椅子を玄関まで入れての介助を行う際は、敷居や左右の壁、柱等に車椅子を当てないように細心の注意を払い行うようミーティング及び職員会議にて周知を図る。
平成 30 年 9 月 27 日	「送迎車自損事故について」 職員が送迎に使用する車輛の移動を事業所玄関前で行った際に、バックを行うも、事業所と隣接している特別養護老人ホームとの渡り廊下の柱に接触させてしまう。	①送迎時に限らず、車をバックさせる際には後方に十分注意を払い最徐行で運転するようミーティング及び職員会議にて周知を図る。